

# 2023年度 第58回 近畿地区知的障害関係施設職員研修会

## 開催要綱

大会  
テーマ

### コロナ禍をこえて～新しい職場の魅力づくりへ

#### 1. 趣 旨

新型コロナウイルスの感染拡大は、福祉施設の中でも大きな影響がありました。短期間で陽性反応者が増え、利用者のみならず職員も厳しい状況乗り越えてきた施設が多かったのではないのでしょうか。近畿地区知的障害関係施設職員研修会も開催の延期を余儀なくされました。改めてここに実施を計画いたしましたので、多くの皆さんにご参加いただきたく、ご案内申しあげる次第です。

いま施設・事業所は、人材不足になやみ支援者の確保を課題としています。「うちは人手に余裕がある」といえる所は珍しいはず。共通して、職場環境の改善をめざし、離職を防ぎ、採用を促進したいはず。なぜなら利用者本位の支援は、現場で人が担うため、担い手である人が欠かせないから。どうすれば魅力ある職場が実現するでしょう。糸口は職員の育成と活躍にありそうです。まずは一人ひとりの職員がいきいきと活躍できる場づくりをめざしましょう。新しい職場の魅力づくりへ、本研修会がその機会となることを願います。

2. 主 催 近畿地区知的障害者施設協会 京都知的障害者福祉施設協議会  
(公財)日本知的障害者福祉協会

3. 後 援 京都府 京都市 京都府社会福祉協議会 京都市社会福祉協議会 (予定)

4. 開催日 2023年10月23日(月) 参集形式のみ

5. 会 場 京都テルサ  
京都市南区東九条下殿田町70番地 (新町通九条下ル)  
TEL: 075-692-3400



京都テルサ アクセスマップ

6. 参加対象者 近畿地区知的障害関係施設・事業所の職員等

7. 参加費 1人 10,000円 (税込・お弁当付)

8. 申込締切 2023年9月15日(金) ※所定の申込書にて FAX でお申込み下さい

#### ②「施設からグループホームへの移行 ～その人らしく暮らす～」

大阪府・社会福祉法人四幸舎和会 くりのみ園 統括施設長 大崎 年史氏

#### ③「地域での暮らしを支える ～相談員の視点から～」

大阪府・社会福祉法人であい共生舎 地域生活支援センターにじ 相談支援専門員 森田 茜氏

#### 【シンポジウム】「暮らし」を支援することとその魅力 ～ご本人が望む暮らしを実現するために～

登壇者：高村 昌裕氏、大西 博之氏、大崎 年史氏、森田 茜氏

進 行：丸山 和幸氏 兵庫県・社会福祉法人三田谷治療教育院 芦屋翠ホーム施設長

兵庫県知的障害者福祉協会 障害者支援施設部会 部会長

### 第3分科会 これからの支援の可能性～それぞれの職場の取り組みから

新型コロナウイルスの流行により感染防止の観点から、私たちの施設・事業所では、利用者さんにも随分と行動範囲の制限をお願いせざるを得ませんでした。窮屈な思いをしながら、それでも現場のアイデアで出来ることを少しずつ実践してきた所もあります。日中活動や就労支援は、発想次第で実に様々な展開の可能性があります。地域とつながる取り組み、農業と福祉の連携、就労の機会や工賃の改善、余暇活動の広がりなど、実践例から参考に出来ることは多いはず。です。

この分科会では、「支援の可能性」を求め、それぞれの現場からの取り組みを実践発表していただきます。事業種別やサービス類型を横断し、魅力的な取り組みを共有しましょう。職場が元気になれば、よい風土が流れ、職員もいきいきとし、やがて人手不足の解消につながればと願うところです。

#### 【講 演】「これからの支援を考える～元気な職場から広がる支援の可能性～」

講師：廣野 俊輔氏 (同志社大学社会学部 社会福祉学科 准教授)

#### 【実践報告】

##### ①「優先調達制度における共同受注の取り組み」(仮題)

和歌山県・社会福祉法人おもと会 おもと園 サービス管理責任者 大沼 千晶氏

##### ②「『農』を中心とした日中活動の実践～土づくりの取り組みから～」(仮題)

滋賀県・社会福祉法人虹の会 大地 サービス管理責任者 中川 崇氏

##### ③「地域とのつながり～セブンイレブン職場体験の事例～」

大阪府・社会福祉法人ぬくもり 放課後等デイサービスものき 主任 箕城 理子氏

放課後等デイサービス PONO 主任 船多 愛氏

#### 【グループディスカッション】

「支援は現場で起こっている！～アイデアを分かち合おう～」

### 申し込み・お問い合わせについて

#### ■ 研修会への参加・お申し込み先 ■

別紙申込用紙にて、下記まで FAX にてお申し込みください (9月15日締切)。

**FAX 075-366-6628** 近畿地区知的障害者施設協会宛

#### ■ お問い合わせ先 ■

**TEL 075-366-6699** 近畿地区知的障害者施設協会事務局

## プログラム

9:30 ● 開 場・受付開始

10:00 ● **開 会 式** 〈テルサホール〉

**主催者開会あいさつ／中央情勢報告**

**樋口 幸雄** (近畿地区知的障害者施設協会会長)

10:30 ● **【講 演】** ※当日はオンラインでのご講演となります

**「どうすれば人が育つ職場作りができるか**

**：利用者本位サービスを担う職員の育成に向けて取り組むべきこと」**

講師：**久田 則夫氏** 日本女子大学人間社会学部教授

専門領域：利用者本位サービス論、福祉マネジメント論

**主な著作** .....

『どうすれば福祉のプロになれるかーカベを乗り越え活路を開く仕事術』（単著）中央法規出版

『社会福祉の研究入門ー計画立案から論文執筆まで』（編著）中央法規出版

『福祉の仕事でプロになる！ーさらなる飛躍に向けた24のポイント』（単著）中央法規出版

『福祉リーダーの強化書ーどうすればぶれない上司・先輩になれるか』（単著）中央法規出版

『福祉職員こころの強化書ー穏やかな気持ちで人を支援する専門職になる』（単著）中央法規出版

その他多数

12:00 ● 休 憩 (お弁当あり)

13:00 ● **【分科会】** ※参加人数により分科会会場の変更があります

**第1分科会** 東館2階 中会議室

**第2分科会** 東館2階 セミナー室

**第3分科会** 東館3階 大会議室

16:30 ● 終 了

情報交換会はありません

※今回は参集型形式の開催のみとなります。オンラインまたはオンデマンドでの配信は控えさせていただきます。

## 【分科会】

### 第1分科会

**乳幼児期～学齢期～卒業後の移行期支援とそのつなぎ目の課題を考える  
～入所施設の立場、児童発達支援事業の立場、相談支援の立場から～**

保護者にとって、子どもの早期療育への取り組みや小学校入学・進級・卒業後の生活に対するライフステージの移行期の悩みは尽きません。この時期の支援者から保護者への情報提供は非常に重要なものになってきます。また、家族機能の崩壊に伴う生活の場所そのものの移行には、家族や本人のデリケートな感情に対する丁寧な説明や関わり(卒園後どこに帰るのかも含めて)が必要になってきます。「移行期」支援に最も重要になるのが、次のステージに関わる関係機関との事前の情報提供と多機関連携です。このポイントについてもそれぞれの立場で深めていきたいと思います。

**【講 演】「乳幼児期～学齢期～卒業後の移行期支援の課題を考える」** (仮題)

講師：**北川 聡子氏** (北海道・社会福祉法人麦の子会理事長・日本知的障害者福祉協会副会長)

**【実践報告】**

① **児童入所施設から「家族からの分離～入所～卒園(業)後を見通した課題の整理」**

京都府・社会福祉法人京都府社会福祉事業団 桃山学園 保育士 **村上 裕美氏**

② **児童発達支援事業から「進路の悩みを抱える保護者の選択を支える情報提供について」**

奈良県・社会福祉法人宝山寺福祉事業団 仔鹿園 保育士 **山中 千幸氏**

③ **相談支援事業から「移行期支援に必要な相談支援専門員に必要な専門性とは」**

大阪府・社会福祉法人和光福祉会 相談室わらいと 相談支援専門員 **池田 裕治氏**

**【シンポジウム】「移行期支援について」** (仮題)

登壇者：**北川 聡子氏**、**村上 裕美氏**、**山中 千幸氏**、**池田 裕治氏**

進 行：**須河 浩一氏** 京都府・社会福祉法人いづみ福祉会 相談支援センターいづみセンター長  
京都知的障害者福祉施設協議会 相談支援部会部会長

### 第2分科会

**「暮らし」を支援することとその魅力  
～様々な支援のありかたと立場から～**

「施設から地域へ」障害福祉の中で長くキーワードとして取り上げられているこの課題に対して、社会資源としての「入所施設」には、どのような役割・機能が求められるでしょうか。

高齢期への対応や地域移行に向けた取り組み、在宅生活を支える役割など、障害のあるご本人への支援、専門性ということに留まらず、公益的な取り組みや地域貢献など幅広い視点が必要となります。この分科会では「今ある現実にごどのように向き合っていくのか」、現状の苦悩とそれに向き合い、それを乗り越える、より良い暮らしを見据えた支援のあり方・実践をそれぞれの立場で報告を頂きます。改めて、「人の暮らし、他者の人生に向き合う」福祉の仕事の魅力を振り返りながら、ご本人が望む暮らしを実現するために、「福祉サービス」のあり方について考えていきます。

**【講 演】「入所施設のあり方を考える ～環境と人づくりを中心に～」**

講師：**高村 昌裕氏** (福井県・社会福祉法人足羽福祉会理事長・足羽ワークセンター管理者)

**【実践報告】**

① **「高齢者特化型施設の役割 ～高齢化と向き合うということ～」**

兵庫県・社会福祉法人陽気会 ひだまり園 施設長 **大西 博之氏**